

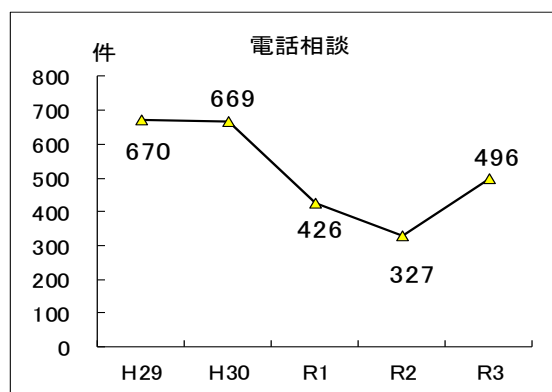
第2 地域福祉

1 住民主体の相談活動

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(1)	電話相談				

結果の概要

- 誰かに話を聞いてほしいとの市民からの声に対して、積極的に周知を行った。
- 電話相談員に、精神保健分野の勉強会を開催した。
- 電話の匿名性により、こころの悩みや生活不安等の訴えを傾聴し、相談者に寄り添う形で対応した。
- 相談員会議を毎月1回開催し、情報共有及び対応方法の検討を行った。



実績等

<事業実績>

相談日	月～金曜日（午後1時～4時）
相談方法	相談専用ダイヤルによる電話受付
相談員	1人で担当（8人の交代制）
相談日数	238日
相談件数	496件
相談員会議	11回（1回は新型コロナウイルス流行により中止）

<相談内容>

内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	2	年金	0	職業、生業	4	住宅	2	家族	8
結婚	0	離婚	0	健康、衛生	5	医療	9	精神保健	450
人権、法律	0	財産	1	事故	0	児童福祉	0	母子保健	0
教育、青少年	0	母子、父子福祉	0	高齢者福祉	1	苦情	3		
心身障害児（者）福祉	1	ボランティア	1	その他	9				

※相談内容は、一回の相談で複数の相談内容がある場合があるため、一部重複あり。

分析・課題

- 継続相談者（443件）が全体の9割近くで、従前から利用している方は精神保健の相談が主であった。新規相談（53件）は新型コロナウイルス流行やワクチン接種に関する事等、「健康」「医療」に関する相談が多くみられた。
- 電話相談員の高齢化により、体制の維持が厳しくなっている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	ふれあい福祉相談	歳			

結果の概要

- 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和2年2月下旬以降、対面での実施は休止し、相談箱を利用した事前申し込みによる電話相談の形へ実施方法を変更した。
- 利用者へは、チラシや地域福祉センター内掲示、ホームページ掲載等の方法で周知した。
- ふれあい福祉相談事業は、多くの利用者が高齢者会食事業と併用して利用していた為、高齢者会食事業の再開と同時期の対面での事業再開についても検討していたが、実施には至らなかった。
- 対面でのサービス再開のタイミングを模索する為、相談員会議の実施を検討したが、新型コロナウイルスの状況が落ち着かず、実施には至らなかった。
- 気軽に相談できる場として、氏名や連絡先といった個人情報把握しておらず、これまで利用されていた方の安否確認には至っていない。

実績等

- 新型コロナウイルス感染拡大防止しながら安全に実施できる方法として、相談箱を設置し、事前申し込みによる電話相談という新しい形をとったが、利用者はいなかった。

分析・課題

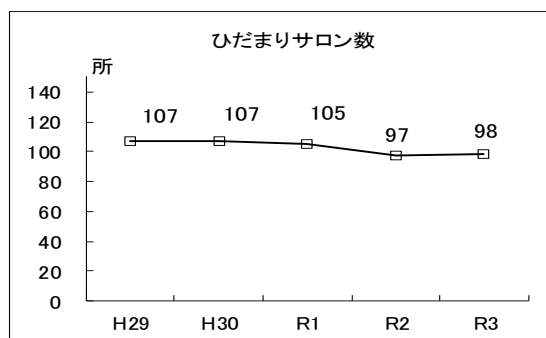
- 相談箱を設置しての新たな形での実施の結果から、当事業は地域福祉センター来所者が気軽に寄って相談員と対面で対話ができる場が必要な事業であると再認識した。
- 対面での相談を実施する場合は、新型コロナ感染による連絡等が必要なことから、個人情報の把握が含め、事業の内容と合わせて検討していく。
- 令和3年度の結果を踏まえ、令和4年度はどのように進めていくか、相談員の意見を聞きながら模索していきたい。

2 住民主体の交流活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	ひだまりサロン事業	歳	市		

結果の概要

- 新規立ち上げは1サロン、7サロンが解散。
- 約640人がサロンスタッフとして活動に参画した。
- サロン応援スタッフ、地域福祉コーディネーター、地域支え合い推進員及びボランティアコーディネーターが連携を取りながら、サロン立ち上げや活動の継続、再開の支援を行った。
- 各サロンへ活動状況のアンケートを実施して、コロナ禍の活動方法に関する悩みが多くなったことから、調布市医師会に協力を頂きコロナ禍でのサロン活動に関する学習質問会を開催した。



実績等

○各グループ活動内容一覧（年度内に解散したサロンを含む）

	サロン名	活動場所	活動内容	活動日、実績
1	サンルーム西華	西部地域福祉センター	茶話会	第2月曜日 開催なし
2	緑ヶ丘おしゃべりサロン	緑ヶ丘地域福祉センター	脳トレ、体操、琴等演奏会	第2火曜日（奇数月）6回開催
3	国領ひだまり	調布市市民プラザあくろす	茶話会	第2・第4金曜日 11回開催
4	ゆたかサロン	ライオンズマンション1階談話室	茶話会	第1・第3火曜日 13回開催
5	多摩住口号棟ひだまり	多摩住口号棟集会室	食事、クリスマス会	第3金曜日 1回開催
6	ひだまり入間	入間地域福祉センター	近況報告等	第3火曜日 11回開催
7	そよ風サロン	個人宅、調布住宅	歌、体操、ぼけない君ビー玉	第1木曜日・第4木曜日 20回開催
8	木曜クラブ	多摩川住宅ハ10号棟集会室	体操、歌、おしゃべり	第3木曜日 10回開催
9	トラジ会	西東京南部同胞生活相談総合センター	個別訪問、近況報告	第2木曜日・第4木曜日 11回開催
10	ひだまり菊野台	個人宅	食事、体操、相談	第4木曜日 0回開催
11	ふれあいランチ	シルバーピア調布染地	茶話会	第1・第4木曜日 打合せ4回開催
12	若葉三丁目ひだまり	個人宅	読書会、近況報告	第1・第3火曜日 18回開催
13	きさらぎサロン	たづくりみんなの広場	交流、近況報告等	第2水曜日 10回開催
14	サロンいこい	布田老人憩いの家	絵手紙	第2金曜日 6回開催
15	からむしの里	布田老人憩いの家	歌、ギター伴奏	第3水曜日 4回開催 ※令和3年度解散
16	ひだまりぶちぼあん	ぶちぼあん	おしゃべり、読書会	第2土曜日 6回開催
17	なかよしサロン	小島町ふれあいの家	散歩、輪投げ、工作、体操	第3月曜日 7回開催
18	緑ヶ丘一丁目自治会グリーンサロン1	緑ヶ丘小学校ふれあい給食室	語らう会	第2木曜日・第4木曜日 4回開催

第1部 第2地域福祉

19	アゼリアお茶の会	マンションアゼリア	茶話会	第2木曜日・第4木曜日 2回開催
20	農園サロンののはな	西つつじヶ丘の畑	園芸	毎週火曜日 24回開催
21	飛田給ひだまり	西部ふれあいの家	茶話会、輪投げ、ぼっちゃ	第2木曜日 6回開催
22	サロンあざみ	シルバーピア調布染地	新聞等	第4月曜日 1回開催 ※令和3年度解散
23	農園サロンぴーまん	西つつじヶ丘の畑	園芸	毎週木曜日ほか 43回開催
24	調布ケアラーの会クローバー	調布市市民プラザあくろす	家族介護者の集いの場	第3木曜日 13回開催
25	緑ヶ丘健康麻雀サロン	緑ヶ丘地域福祉センター	麻雀	毎週木曜日 21回開催
26	緑ヶ丘一丁目自治会グリーンサロン2	緑ヶ丘小学校ふれあい給食室	歌	第1・第3木曜日 0回開催
27	お茶のみクラブ	緑ヶ丘地域福祉センター	食事、歌	第1・第3月曜日 10回開催 ※令和3年度解散
28	野川芝桜の会	野川河川敷	芝桜の手入れ、野川清掃	第2火曜日・第4日曜日 18回開催
29	やよい会	下石原地域福祉センター	カラオケ、交流	第2・第4木曜日 14回開催
30	緑ヶ丘2丁目あきらさん家	ほんのもり	個別訪問、近況報告	第3月曜日 2回開催
31	金曜サロン	深大寺東町市営住宅集会室	歌、交流	第2金曜日 0回開催 ※令和3年度解散
32	アズランカ	個人宅	子育て、手芸、ワークショップ	第2・第4水曜日 12回開催
33	つどい場カフェ	個人宅	介護について話し合う	第3月曜日 0回開催
34	ひまわり	ネオコーポ調布多摩川集会室	茶話会、麻雀、手芸	第2水曜日 23回開催
35	童謡を歌う会シンガーズ・グリーン	緑ヶ丘地域福祉センター	近況報告、歌	第2土曜日 12回開催
36	上布田大好きOG/OB会	上布田自治会館	情報交換、竹細工、そば打	第1月曜日・3月曜日 20回開催

第1部 第2地域福祉

37	染地ふれあいサロン	染地ふれあいの家	10筋体操、映画会	第3水曜日 7回開催
38	サロン木洩れ陽	こころの健康支援センター別館	食事	第2金曜日 第4月曜日 ※令和3年度活動休止
39	の～んびり茶の間	多摩川住宅口7号棟A・B・C集会室	茶話会	第4日曜日 1回開催
40	手話でひだまり in 富士見	富士見地域福祉センター	手話の勉強	第4土曜日 ※令和3年度活動休止
41	自主トレたんぽぽ	富士見地域福祉センター	体操	毎週木曜日 40回開催
42	なかま町づくり	深大寺東第一自治集会場	おしゃべり、工作	毎週水曜日 41回開催
43	金子ひだまり	国領3丁目第2アパート集会所	輪投げ	毎週水曜日 26回開催
44	テラコヤ3	金子地域福祉センター	子育て、イベント	第3金曜日 3回開催 ※令和3年度解散
45	くすのき絆サロン	くすのきアパート集会室	茶話会	第1・第3月曜日 13回開催
46	メイプルカフェ	メドウイン調布	座談会	第2・第4水曜日 22回開催
47	多摩川太陽グループ	下石原地域福祉センター	手芸、出前講座	第2木曜日 6回開催
48	花カフェ	美容院ラリス	介護の情報交換	第1・第4火曜日 15回開催
49	みかん健康体操	ときわぎ国領ライフタウン国領	体操、脳トレ	月2～3回月曜日 17回開催
50	ポーノ・ポーノ	たづくり	アープ体操	第3火曜日・第3日曜日 12回開催
51	くすのき健康麻雀サロン	くすのきアパート集会室	麻雀	毎週木曜日 第1・3土曜日 39回開催
52	若葉カフェ	東部公民館	おしゃべり	第3水曜日 3回開催
53	なごみ深大寺	深大寺地域福祉センター	工作	第4金曜日 7回開催

54	なんてったってクラシック	染地地域福祉センター	音楽鑑賞	第3水曜日 12回開催
55	わかくさサロン	都営八雲自治会館	近況報告、脳トレ	第3土曜日 3回開催
56	ふじみ手芸とおしゃべりサロン	富士見地域福祉センター	手芸、おしゃべり	第2・4水曜日 11回開催
57	うたごえ喫茶 in 富士見	富士見地域福祉センター	おしゃべり、歌	第3土曜日 0回開催
58	オアシス深大寺	個人宅	手芸、茶話会	第1月曜日 8回開催
59	テラ多摩川サロン	フィットネス&カルチャースタジオ Terra	体操	第1・3火曜日 17回開催
60	サン歩会	個人宅	散歩、茶話会	第1木曜日 8回開催
61	西部輪なげサロン	西部ふれあいの家	輪投げ、茶話会	第4木曜日 7回開催
62	おひさまカフェ	個人宅	園芸、手芸	第3金曜日 11回開催
63	くすのきひだまり	くすのきアパート 集会室	カラオケ	第2・4月曜日 13回開催
64	早朝体操会	市役所前庭	体操	土曜日を除く毎日
65	りはびり麻雀の会	染地地域福祉センター	麻雀	毎週火曜日 27回開催
66	AMK ふれあいネットワーク	朝日マンション国領の諸施設	散歩、体操、情報交換	活動項目により様々(毎週~1回/年) 45回開催
67	杜と光のサロン	アトラス調布	モルック	第3木曜日 1回開催
68	エンジョイピンポン	富士見地域福祉センター	ピンポン	第2・第4土曜日 19回開催
69	山野園芸サロン	神代の杜、農園等	園芸	第1・第3火曜日、第2・第4土曜日 90回開催
70	ほっとカフェ談	西部地域福祉センター	交流、読み聞かせ	第3金曜日、第5週目のいずれか 8回開催
71	談楽バードカフェ	富士見地域福祉センター	川柳、ピンポン、談笑	第4火曜日 5回開催
72	ひだまりテニス	市民多摩川テニスコート	テニス、交流	第2・4火曜日 24回開催

第1部 第2地域福祉

73	寿会	緑ヶ丘地域福祉センター	近況報告、相談	第2金曜日 12回開催
74	友悠麻雀初心者クラブ	緑ヶ丘地域福祉センター	麻雀	第1・第3火曜日、第2月曜日、第4金曜日 19回開催
75	ズッキーニ	小島町ふれあいの家	ウクレレ、	第1・第3月曜日 10回開催
76	いきいき会	小島町ふれあいの家	雑談、江戸川柳	第2・第4火曜日 10回開催
				※令和3年度解散
77	手話ダンスずずらんサロン	緑ヶ丘地域福祉センター	交流、手話ダンス	第1・3木曜日 10回開催
78	ひだまりあみもの	ライフタウン国領	あみもの、交流	第1・第3金曜日 20回開催
79	Cocoオアシス	調布市こころの健康支援センター	おしゃべり、ゲーム、音楽	第3土曜日 10回開催
80	みんなよってっ亭	くすのきアパート 集会室及び前	懇談	第2・第4火曜日 0回開催
81	ハッピーマニア	菊野台地域福祉センター（リモート開催あり）	ストレッチ、ズンバ	第3日曜日 10回開催
82	ひまわりテニス日曜日クラブ	神代中学校テニスコート	テニス、交流	第1火曜日・第1木曜日・第4日曜日 24回開催
83	サロンハイム	神代植物公園 他	散歩	第2日曜日 1回開催
84	まちかどサロン	緑ヶ丘地域福祉センター	体操、朗読、散歩、 広報誌発行	第3火曜日 12回開催
85	飛田給ひまわりの会	西部公民館	体操、折紙、工作、 勉強会	月2回（曜日不定期） 6回開催
86	メリーゴーランド	たづくり	外国人との交流歓談	第1木曜日・第3月曜日 19回開催
87	もりもりサロン	覺證寺	食事	毎週金曜日 11回開催
				※令和3年度解散
88	三火会	野ヶ谷ふれあいの家	茶話会	第3火曜日 12回開催
89	みんなの体操サロン	西部地域福祉センター	体操、茶話会	第4木曜日 12回開催
90	子育てランチうさくんち	個人宅	食事、子育て、相談	第2火曜日・第3水曜日 12回開催
91	うたごえサロン 金子の里	国領3丁目第2アパート 集会所 他	交流、歌	第4木曜日 8回開催

92	2・4火曜会	深大寺こもれび	10筋体操・茶話会	第2・第4火曜日 10回開催
93	けやきぶんこ	西部地域福祉センター	絵本、子育て、おしゃべり	第2金曜日 5回開催
94	上石原ひだまり	上石原ふれあいの家	10筋体操、茶話会	第2・4火曜日 9回開催
95	めだかの学校	八雲台ふれあいの家	10筋体操、茶話会	第1・第3火曜日 10回開催
96	サロン・ド・わきあいあい	調布南キリスト教会	茶話会、紙芝居、工作	第1火曜日 5回開催
97	サロンひかるげんじ	光源寺香ホール	10筋体操、講座	第3水曜日 6回開催
98	みんな DE ネットサロン	ノートルダム修道院	パソコン、スマホに関する情報交換、茶話会	第3水曜日 8回開催

○令和3年度で解散となったサロンは以下の通り。

サロン名	解散理由
からむしの里	新型コロナウイルス感染症の影響により、会場の人数制限でメンバー全員での活動ができなくなったため活動終了となった。
サロンあざみ	代表の転居等から活動を継続できない等の理由で活動終了となった。
お茶のみクラブ	メンバーの高齢化や新たな後継者がいない等の理由でひだまりサロンとしての活動は終了となった。
金曜サロン	コロナにより活動することが困難になったことと、参加人数が少なくなったため活動終了となった。
テラコヤ3	コロナ禍で活動することが難しく、子ども達も成長していく中で生活環境が変化したため活動終了となった。
いきいき会	コロナ禍で参加人数が少なくなったため活動終了となった。
もりもりサロン	ひだまりサロンとしての活動は終了となったが活動は継続していく。

○ひだまりサロン応援スタッフ会議

開催日	内容
5月	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
6月15日	サロン紹介冊子・たより発行、新規・継続サロン相談について
9月21日	新規・継続サロンの相談、地域別交流会について
11月16日	各サロン活動状況、コロナ学習質問会について
1月	新型コロナウイルス感染拡大のため中止

分析・課題

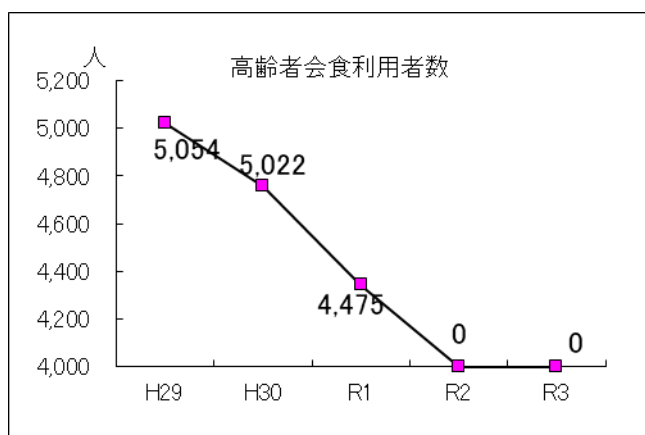
○活動が開催できないことでのモチベーション低下や、スタッフ、参加者の高齢化により活動の継続が難しくなり解散したサロンが増加した。

- コロナ禍で従来の活動が行えず、活動内容や開催方法を変更し活動再開をしたサロンと、感染の不安から活動を再開できずにいるサロンが2極化した。このことから福祉圏域担当の地域支えあい推進員、地域福祉コーディネーター等がサロンスタッフと連携を強化し活動について一緒に考えサポートとする必要性が高まっている。
- 幅広い世代にひだまりサロンの活動を知り、参加のきっかけをつくるため、社協、市民活動支援のホームページの活用強化や、従来から作成しているひだまりサロン紹介冊子等の構成や配架先の見直しを図りたい。
- 新型コロナウイルスの影響により、令和3年度も地域別交流会を中止とした。サロン同士の交流や情報交換を継続して行えるよう、応援スタッフ会議等を活用した新たな取組の創出が必要となっている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	高齢者会食サービス		市		○

結果の概要

- 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和3年度の会食サービスは全て休止とし、利用者については実施曜日に電話による安否確認を行った。
- 利用者の安否確認において深刻な状況は無かったが、様子が心配な方については地域包括支援センター等関係各所と連携し対応している。
- サービス再開に向けて、当面は会食しない交流会を企画し、ボランティアとの意見交換会を行った。



実績等

地域福祉センター	利用者数 (人)	実施曜日	会食実施回数	ボランティア数 (人)	安否確認電話回数
菊野台	13	火	年間0回	15	516回
深大寺	7	火	年間0回	17	324回
下石原	8	水	年間0回	14	407回
富士見	11	水	年間0回	13	510回
染地	7	水	年間0回	18	288回
西部	7	木	年間0回	15	418回
調布ヶ丘	10	木	年間0回	12	431回
緑ヶ丘	8	木	年間0回	13	477回
入間	11	金	年間0回	18	487回
金子	11	金	年間0回	12	522回
	計 93 人		計 0 回	計 147 人	計 4,380 回

※利用者数及びボランティア数は令和4年3月31日現在の人数

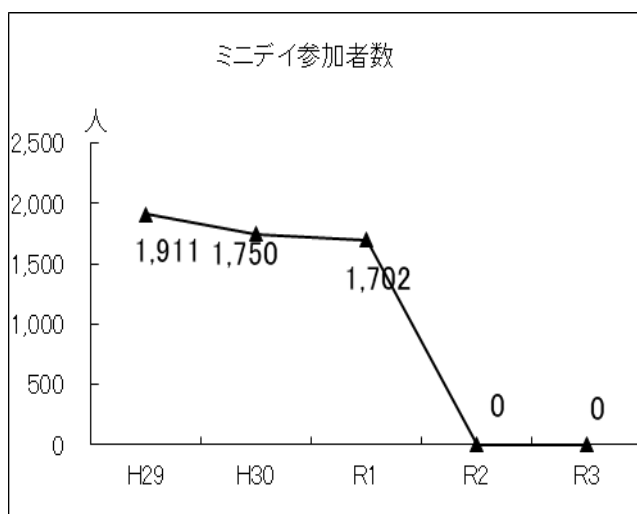
分析・課題

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、外出や会話の機会が減ったことによる健康面や精神面への対応が課題となっている。
- 利用者のニーズやボランティアの思い・ご意見を丁寧に聞き取り、地域支え合い推進員等とも連携して、今後の事業のあり方を再考することが必要である。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	高齢者会食ミニデイサービス		市		

結果の概要

- 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、令和3年度のミニデイサービスは全て休止とした。



実績等

拠 点	実施曜日	実施回数	参加人数 (延べ人数)	内 容
菊野台	火曜日	年間0回	0人	レクリエーションダンス
深大寺	火曜日	年間0回	0人	体操
西部	木曜日	年間0回	0人	体操
調布ヶ丘	木曜日	年間0回	0人	体操
金子	金曜日	年間0回	0人	体操
入間	金曜日	年間0回	0人	歌
緑ヶ丘	金曜日	年間0回	0人	体操・歌
		計0回	計0人	

分析・課題

- 高齢者会食サービスと併せて、今後の事業のあり方を再考することが必要である。

番号	事業名	財源			
		自主 会費	補助	委託	事業 ○
(4)	小地域交流事業				○

結果の概要

○新型コロナウイルスの影響を受けて、令和2年度に引き続き、事業実施については、各地域の実行委員会に委ねるものとした。また、中止の場合もコロナ禍で何ができるかを地域の特性を生かし検討していくこととした。結果、13か所すべての地域で従来のイベントは中止となった。一方で、一部の地域では令和4年度につなげる別企画を実施・検討したりアンケートを行ったりした。

実績等（※例年通りのイベントは全地域中止となる）

	地域名（会場）	事業名	別企画
1	緑ヶ丘地域福祉センター	緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい（パート1）	小規模イベント（子どもの舞台発表・展示・軽食販売等） ⇒感染拡大のため中止
		緑ヶ丘・仙川地域ふれ愛のつどい（パート2）	
2	入間地域福祉センター	三世代輪投げ大会	
		入間はつらつ地域まつり	
		新春お茶会	
3	菊野台地域福祉センター	菊野台地区地域のつどい	「菊野台地区地域のつどい」茶話会 ⇒感染拡大のため中止
4	金子地域福祉センター	金子バリアフリー映画体験会	①広報誌「ふれあいかねこ」発行 ②ちょうわ地区協議会の10周年イベントに出店しPR ⇒②は感染拡大のため中止
		金子ふれあいまつり	
5	国領小学校	第14回国領わいわいまつり	①ぬりえ ②障害平等研修 ③団体紹介動画 ⇒②は感染拡大のため中止
6	深大寺地域福祉センター	ふれあいフェスタ北ノ台	
7	深大寺小学校	深大寺ふれあいのつどい	
8	調布ヶ丘地域福祉センター	調布ヶ丘わくわく広場	
		調布ヶ丘わくわくミニ交流会 みんなでポッチャ&輪投げ&福笑い	
9	こころの健康支援センター	布田わくわく歌声ひろば	令和2年度に引き続き「CoCoDeCo」を実施
	布田小学校	布田小学校梅まつり	
	こころの健康支援センター	布田わくわくひろばまつり・地域のつどい	

10	染地地域福祉センター	みんなおいでよ！～友達になろう～ 第23回ボランティアまつり染地	『知っておくと役に立つアレコレ「相続」についての豆知識』講座を実施
		みんなおいでよ！～友達になろう～ 染地で広げよう、つながろう 令和の『わ』	
11	富士見地域福祉センター	富士見ふれあいのつどい	
12	下石原地域福祉センター	下石原地区ふれあいのつどい	チラシ作成（中止の案内、令和4年度に向けたコメント等掲載）
13	西部地域福祉センター	西部ふれあいのつどい	広報誌「西部ふれあいだより」発行

分析・課題

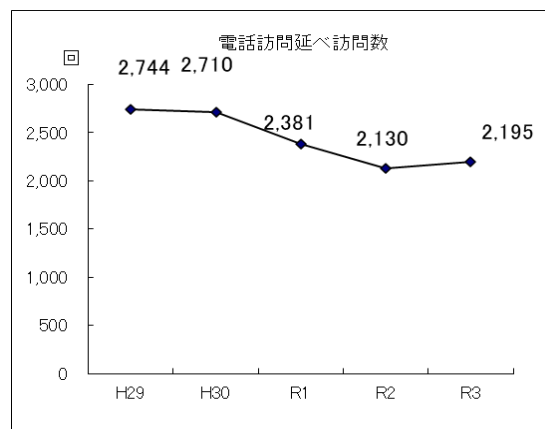
- 当初は、イベントを中止する場合、別企画等の実施や検討を予定していたが、度重なる緊急事態宣言の発出等もあり、別企画も中止とせざるを得ない地域が多かった。
- 従来のイベントも代替企画も、中止が続いてしまうと地域のつながりの希薄化や地域の担当者の変更等で、再開が難しくなってしまう可能性もある。つながりの維持や新たな人材の発掘が課題となる。
- 多くの地域で実行委員の高齢化が課題となっている。若い担い手や新たな担い手の発掘が必要である。
- コロナ禍でのイベント開催は感染防止対策や工夫が必要となるが、本事業は、様々なつながりが希薄化するコロナ禍だからこそ求められる事業でもあると思うので、各地域の状況に合わせた取り組みを行っていききたい。

3 住民主体の訪問活動

番号	事業名	財源			
		自主	補助 市	委託	事業
(1)	ほのぼの電話訪問				

結果の概要

- 見守り三事業の一つとして、電話訪問員10人（月～金：各2人）が午前中、利用者に電話を掛け安否確認を行うとともに、話をすることで孤独感の緩和を図った。
- 新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発令されていた令和3年4月27日～6月18日は、訪問員からの電話は休止とし、同期間は職員から利用者への安否確認を行った。
- 新型コロナウイルスの感染予防、熱中症や住宅火災予防、特殊詐欺等への注意喚起と情報提供を、訪問員を通じて利用者へ適宜行った。
- 訪問員からの報告により家族やケアマネージャー、地域包括支援センター、地域福祉コーディネーター、民生児童委員等と連携を図り、適切な支援を行うことができた。
- 民生児童委員と連携を図り、2年に1度の見守り三事業利用者の更更新手続きを行った。
- 死亡や施設入所、他サービスとの重複等の理由で利用中止となった方が9人いた。しかし、下半期に



新規利用者が増加したこともあり、延べ訪問回数は令和2年度とほぼ同じ回数となった。

- 電話訪問員研修については、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を鑑みて中止とした。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月に予定していた電話訪問員会議は中止とした。その後、代替日として1月に臨時の会議を企画したが、新型コロナウイルス感染者が増加したため、再度中止とした。

実績等

○利用実績

月	利用者数(人)	訪問回数(回)	月	利用者数(人)	訪問回数(回)
4月	49	191	10月	50	191
5月	49	164	11月	48	178
6月	49	198	12月	47	176
7月	48	175	1月	50	169
8月	47	190	2月	54	168
9月	49	185	3月	53	210
			合計	593	2195

※電話訪問員からの午前中の電話に回答がなく、午後から安否確認をした件数 149件

○電話訪問員会議・研修

月 日	項目	内容
4月6日	第1回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
7月21日	第2回電話訪問員会議	新型コロナウイルスの影響により中止
9月9日	第3回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
11月12日	第4回電話訪問員会議	事務連絡、近況報告・事例検討
1月18日	臨時電話訪問員会議	7月21日中止分として開催予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止
3月14日	第5回電話訪問員会議	近況報告（新型コロナウイルス感染予防のため、時間短縮にて開催）

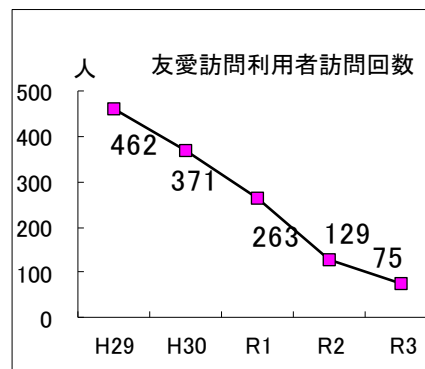
分析・課題

- 訪問員の高齢化により、令和3年度は2人の訪問員が退任され、現在欠員となっている。安定した事業継続をするためにも早急に後任を見つける必要がある。また、現在継続されている訪問員も全員70代以上のため、次世代の担い手として後任候補も併せて探していく。
- 見守り三事業の更新手続きをきっかけに電話訪問の利用希望が相次ぎ、12月以降新たに15人から申し込みを受け付け利用につながった。人と会う機会が減少し孤立している高齢者が今後も増加することが想定されるため、そのような方々にも情報が行き届くよう引き続き広報活動に力を入れていく。
- 長期化するコロナ禍で高齢者の孤立が進み、利用者の電話も深刻な内容が増加傾向にある。この2年間は電話訪問員研修を実施できていないため、傾聴する訪問員のスキルアップを目的とし研修の開催を企画・検討したい。
- 利用者と対面せず安否確認を行うサービスとして、コロナ禍でも大きな影響を受けることなく事業継続できている。今後も利用者・訪問員ともに安心して活動できるよう、基本的な感染対策を徹底しながら事業を行っていく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	友愛訪問事業		市		

結果の概要

- 友愛訪問員8人が、週1回1時間程度高齢者宅を訪問し話し相手となることで、孤独感の緩和を図った。
- 訪問員から報告のあった利用者の心身の変化を家族や社協内他部署、地域包括支援センター、ケアマネージャー等に伝え、連携して事故の防止を図った。
- 熱中症予防や住宅火災予防、振込め詐欺等への注意喚起と情報提供を、訪問員を通じて適宜行った。
- 緊急事態宣言中、もしくはまん延防止重点措置期間は訪問員による訪問をやめ、職員から電話で安否確認をとった(計91回)。訪問員連絡会も中止とした。
- 利用者・訪問員ともに感染症対策を行ったうえで訪問を実施した。
- 新型コロナウイルス対策として、フェイスシールド、手指消毒スプレーを各訪問員に配布した。



実績等

月	利用者数 (人)	訪問 (回)	電話 (回)	友愛訪問員連絡会		
				回数	日付	内容
4	12	13	1	1	14日	新年度体制、活動報告、情報交換等
5	12	0	14	0		感染防止のため訪問、会議なし
6	12	2	12	0		なし
7	12	4	10	0		感染防止のため訪問、会議なし
8	12	0	14	0		なし
9	12	0	14	0		感染防止のため会議なし
10	12	13	1	0		なし
11	11	13	1	1	8日	活動報告、情報交換等
12	12	15	0	0		
1	12	11	2	1	13日	活動報告、情報交換等
2	12	1	12	0		
3	12	3	10	0		感染防止のため会議なし
計	143	75	91	3		

分析・課題

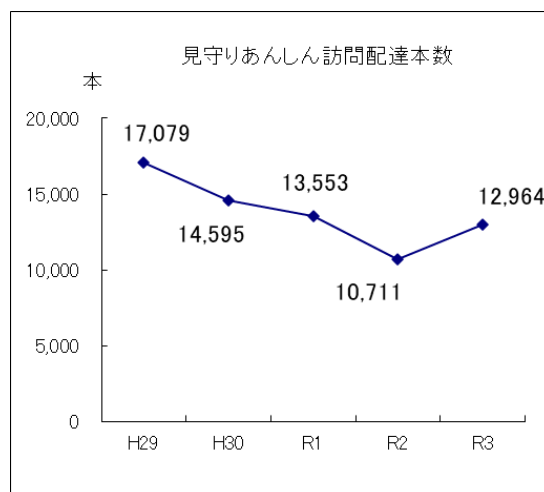
- 歩行困難で外出して人と会う機会が減った、また、聞こえにくくなり大勢が集まる場所での会話が困難になった等の理由で、事業のニーズが高まっているが、新型コロナウイルスの影響により、訪問員が感染を恐れて休止を希望されることがあり、現状では新規の利用者宅への訪問依頼を受けにくい状況にある。
- 訪問員が高齢化傾向にあり、安全に活動できるよう引き続き活動環境(活動地域、利用者の担当数および訪問間隔)の配慮が必要と考えられる。

4 企業との協働活動

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(1)	見守りあんしん訪問事業				

結果の概要

- 週2回（月曜日と木曜日）ヤクルトレディが、ひとり暮らし高齢者宅を訪問し乳酸菌飲料の手渡しと声掛けで安否確認を行った。
- 令和3年度における配達本数の増加要因は、令和2年度に実施した新型コロナウイルス感染拡大予防対策としての配達休止期間がなかったことによるもので、利用者数の増減は殆どなかった。
- ヤクルトレディはマスク着用や手指消毒等の新型コロナウイルス感染対策を行いながら訪問を実施した。
- 訪問時、ヤクルトレディが利用者宅の異変や利用者の変調を察知した際の緊急連絡が徹底されてきた。
- 訪問状況の把握やスムーズな利用につなげることを目的とした、東京ヤクルト販売(株)配達区域センター3箇所との意見交換は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑みて令和3年度も開催を見送った。
- 東京ヤクルト販売(株)、緊急連絡先、民生児童委員、ケアマネージャー、地域包括支援センターおよび地域福祉コーディネーター等と連携し、ひとり暮らし高齢者の安心のみならずご家族の安心にもつなげることができている。
- 民生児童委員の協力を得て、2年に1回の利用登録更新手続きを行った。



実績等

	利用者数 (人)	配達本数 (本)	支払金額 (円)	安否確認 (件)		利用者数 (人)	配達本数 (本)	支払金額 (円)	安否確認 (件)
4月	175	1,079	92,792	25	10月	185	1,106	95,563	31
5月	183	1,135	98,060	34	11月	180	1,273	110,034	30
6月	183	1,139	98,586	32	12月	180	995	85,990	35
7月	184	1,134	97,201	35	1月	184	995	85,990	47
8月	186	1,012	87,459	35	2月	186	986	85,208	37
9月	189	992	85,737	36	3月	183	1,118	96,574	45
※利用者数には休止者を含む					合計	2,198	12,964	1,119,194	422

- 大雪警報の影響で一日のみ配達中止となったが、利用者へは電話による安否確認を実施した。
- 安否確認の件数は422件であった。（令和2年度:303件／令和元年度:487件／平成30年度:622件）
そのうち職員の自宅訪問による安否確認は1件（令和2年度と令和元年度は無し）だったが、自宅にて無事に過ごされていた。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者の外出機会が減り安否確認数も減少傾向にある。
- 利用者の転居や死亡、他サービスの利用による辞退、および利用者の高齢化に伴う通院や入院による

休止者も増加し、配達本数が減少した。

分析・課題

- 他のサービスを利用されていない方にとって、大切な見守りの機会となっている。
- 必要と思われるサービスや支援の受け入れに拒否的な方も本事業への抵抗感は薄いようで、今後の適切なサービスや支援へつなげるきっかけともなっている。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者の外出や会話の機会は大幅に減ったが、ヤクルトレディの訪問と声掛けや会話は、ヤクルトレディと利用者との繋がりをより強固なものとしている。
- 孤独死や孤立死は依然社会問題となっており、見守りが行き届いていない高齢者の利用につながるよう、広報活動を含め引き続き事業の周知をしていきたい。

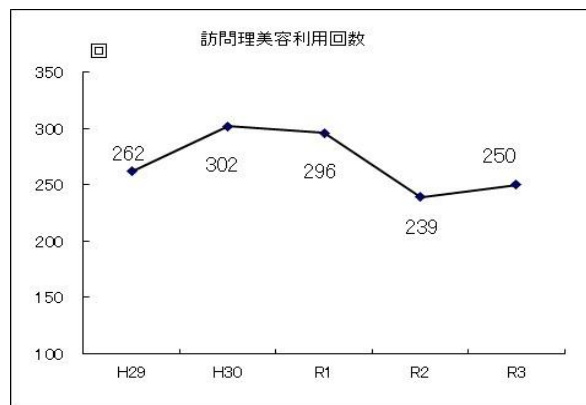
番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	高齢者訪問理美容サービス		市		

結果の概要

- 令和3年度新規申請者は73件であった。申請件数は減少しているが、利用件数は増加した。
- 従事者のサービスの質を高めるため、理容組合・美容組合の会員を対象に、『地域包括支援センターの役割について』『消費者被害について』等をテーマに研修会を実施した。美容組合のみ、多摩府中保健所の衛生講習も同日に実施した（保健所の講習は美容組合が調整）。
- サービス対象外である要介護2以下の方からの「実費でも訪問理美容を依頼したい」という問い合わせには、以前に引き続き協力理容店と美容組合の「福祉美容サービス」を紹介する等の対応をした。
- ふくしの窓、市報に事業の利用案内を掲載した。

実績等

- 利用回数 250回（理容114回／美容136回）
- 申請者数 146人（令和2年度156人）
- 理美容券を全て使用した人は26人であった（申請者数の約18%）。令和2年度より、1人減少した。



分析・課題

- 令和3年度は令和2年度に比べて、申請者数が10人減少したが、利用回数は11回増加した。対象外の方からの問い合わせも依然あり、今後も続くと思われる。
- 利用者アンケートを実施したところ、「外出することが難しいので訪問してもらえてありがたい」「丁寧に対応してもらえて嬉しい」等、サービス内容に満足しているという回答が多く、訪問による調髪のニーズの高さがうかがえた。
- 理容・美容両組合とも、手指消毒・マスク着用を徹底して利用者宅を訪問し、器具の消毒も通常どおり入念に行い、新型コロナウイルス感染防止に努めている。

5 人材育成

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	手話講習会事業		市		○

結果の概要

- 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度に実施できなかった入門クラス・基礎クラス・養成基本クラスを実施した。
- 令和2年度に申し込みをしていた受講生を優先受講とした。
- 手話講習会実施にあたり、令和2年度に引き続き感染症対策として下記の対応を行った。
 - ・1回の授業を1.5時間から2時間に延長し、厚生労働省の手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラムの規定時間に基づき、各クラス受講回数を削減した。
 - ・感染症対策として、受講生全員にフェイスシールドを、講師と世話人に眼鏡型低反射フェイスシールドを配布した。
 - ・各自1メートル以上の間隔を確保した。
 - ・館内空調とサーキュレーターを利用しての換気を行った。
 - ・授業開始前および終了後は世話人による消毒作業を行った。
- 新型コロナウイルスによる第3回緊急事態宣言を受け、受講生と協力者の安全を考慮し、開講を6月に延期した。第4回緊急事態宣言時は、7月は出欠の有無にかかわらず全員出席の扱いとし、8月以降は休講とした。1月以降のまん延防止等重点措置期間については、受講人数が少ないことから、除菌・換気を徹底し実施した。
- 休講以降、再度新型コロナウイルスの影響により中止になった場合に備え、各クラスオンラインでの授業を数回行った。
- 手話講習会養成クラス選考試験は感染症対策を行い実施した。養成クラス修了者13人が申し込みを行い、最終的に12人が受験し、9人が合格となった。

実績等

○講習課程

年間入門クラス18回・基礎クラス23回・養成基本クラス27回の講習会を実施した。

- ア 技術取得 入門17回・基礎22回・養成基本26回
- イ 学習発表会 中止
- ウ クラス別講演会 年1回
- エ 全体講演会 中止

○受講者数

	コース名	定員	受講者数(人)	修了者数(人)
火曜日 昼間	入門	25人程度	12	10
	基礎	20人程度	14	12
金曜日 夜間	入門	25人程度	16	13
	基礎	20人程度	14	13
	養成基本	15人程度	12	5
合計		105人程度	68	53

○費用

年間 4,000 円（その他教材費は実費負担）

○講師会

- ・ 8 月 緊急事態宣言解除後の実施方法について検討。
- ・ 9 月 オンライン授業の実施について検討。
- ・ 11 月 オンライン授業の振り返りと令和 4 年度受講生募集について検討。
- ・ 3 月 令和 3 年度の振り返りと令和 4 年度の実施方法について検討。

○世話人会

中止

○講師研修

中止

分析・課題

- 手話普及コースの入門・基礎クラスは幅広い層が参加している。クラス別講演会やろうゲストを招いての授業を通して、障がい理解の促進、受講生の学習の意欲の向上や受講生同士の交流を図ることができている。
- 新規で手話を学びたい方の受け皿や手話学習のモチベーションの維持、また手話通訳者の育成のため、継続した事業運営の必要性が高まっている。今後コロナ禍に於ける講習会の在り方や継続方法について検討し、環境整備をしていく必要がある。
- 口形を活かした手話指導を行うことから、消毒や換気の徹底・フェイスシールドの配布・定員の削減を行い、受講生の安全確保に努めていく。
- 近年世話人を初めて担うという人材が多いことから、令和 4 年度以降は開講前後の早い段階で世話人会を行い、混乱なく授業が始められるよう世話人への説明を丁寧に行っていく。
- 令和 3 年度は新型コロナウイルスの影響により講師研修を実施できなかった。今後オンラインでの実施も視野に入れ、講師や研修内容を検討しながら、講習会の質を高められるよう実施していく。
- 継続した講習会運営が図れるように次世代の講師、世話人の育成も視野に入れた体制の構築を検討していく。
- コロナ禍において、受講人数・授業回数や時間の見直し、Zoom 授業を実施しているが、今後手話の学習への長期的な影響を検討しながら、講習会を運営する必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(2)	研修の場の提供				

結果の概要

- 社会福祉の実践・実習教育として、大学等の各種学校及び企業の人材育成に協力し、研修生、実習生の受け入れを行った。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、予定していた実習について受入期間の短縮や中止、また受入方法の変更（オンラインでの講義等）の申し入れがあった。

実績等

○令和3年度実習生受入校・企業（年度当初の受入予定校含む）

No.	学校	人数	日数	No.	学校	人数	日数
1	法政大学	中止	中止	7	日本社会事業大学（通信）	中止	中止
2	日本社会事業大学	中止	中止	8	桜美林大学	1人	9日
3	立教大学	中止	中止	9	大妻女子大学	1人	24日
4	駒澤大学	中止	中止	10	慈恵第三看護専門学校	—	—
5	日本大学	1人	28日	11	調布特別支援学校	28人	3日
6	東京都立大学	1人	24日				

※No.1～9は社会福祉士実習、No.10は臨地実習（老年看護学）、No.11は就業体験

※No.10 慈恵第三看護専門学校はZoom録画講義

※例年受け入れている介護等体験、京王バスについては、新型コロナウイルスの影響で実習依頼なし。

※調布特別支援学校は令和3年度が初めての受入

分析・課題

○社会福祉士実習のプログラムは原則24日間で各部署を回るような形で受け入れてきたが、令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実習の中止や期間の変更・短縮等、変更して実施した。

○令和4年度も同様に新型コロナウイルスの影響を受けることが予想される。長期分散型による受入方法の変更により柔軟に対応していきたい。

6 団体支援等

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(1)	地域福祉活動支援事業			市	

結果の概要

○地域で活動を行っている団体に対して、活動の充実、発展を支援するための助成事業を実施。

○申請4団体全てが書類選考を通過。公開プレゼンテーション等を経て、最終的に3団体に対し助成が実施された。

○年度末の活動報告会では、各団体がお互いの報告を聞き、その後の交流会ではそれぞれの団体が抱える課題等について活発な情報交換が行われた。年度末の報告会は交流会をしない等、感染対策をしたうえで開催したが、市民の参加は2人と少なかった。

実績等

○選考

日 程	書面にて開催。
内 容	応募団体の公開プレゼンテーションにより、検討評価委員が選考。 3団体に対し助成が実施された。

○助成団体（3団体）

団体	活動内容
NPO法人 きもの笑福	令和元年発足され、「和装文化」普及活動を行う。中学校の家庭科授業にて出前講座を行い、生徒に着物の歴史・文化を教えると同時に、男女全員分の浴衣を準備し、講師の指導の下、生徒自身で着る実技体験を行っている。
調布・桜いきいき支部	平成27年度創設のスポーツ吹き矢団体。健康増進と生き甲斐の創造を活動目的に、市内公共施設にて定期練習実施。また他団体に講師として出向いたり、イベントにも参加している。
視覚障がい者のためのメンタルスキル講座 LaLa	令和2年1月視覚障がい者のメンタルヘルス講座を行うために発足された団体。代表の経験をふまえ、昨年外部イベントにて行った講座が好評につき、定期的活動を始めた。現在定例会とともに、年に数回講座開催を目指している。

○活動報告会

日程	令和4年3月26日（土）
参加人数	18人
場所	調布市総合福祉センター2階202～203会議室
内容	助成団体3団体がこの1年の活動を報告。 最後に検討評価委員により講評をしていただいた。

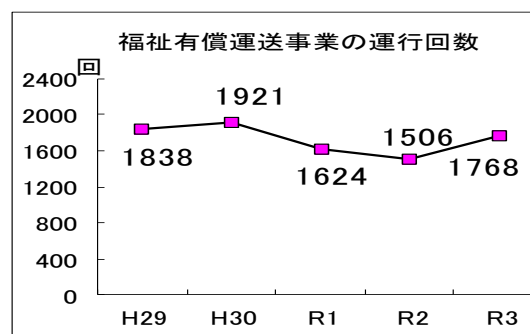
分析・課題

- 助成金総額が減少しているため配分できる金額は少なくなり、申請額には及ばない金額での助成となる団体もあった。
- 本助成事業は助成金支援だけではなく、新しい活動を行う団体活動全体の支援を目指している。地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシャルワーカー）や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）、また市民活動支援センターと連携して、包括的な支援をしていきたい。
- 新型コロナウイルス拡大防止の影響等で活動を思ったように行えない団体が多くある。またそのような状況下で様々な助成金ができおり、申請をする助成金の選択肢が増えている。そのため当事業への申請が顕著に減少しているため、効果的な広報を考えていくことが課題である。

番号	事業名	財源			
		自主 歳	補助	委託	事業
(2)	福祉有償運送に係る補助金交付事業				

結果の概要

- 既存の交通機関を利用して外出することが困難な市民の在宅援護の一助として実施する福祉有償運送を行うNPO法人への運営費補助を行った。



実績等

○利用目的別運行実績

区分	利用目的別件数					合計
	通院	通園(所)	社会参加	入院	退院	
4月～6月計	283	131	95	6	5	520
7月～9月計	346	41	83	3	4	477
10月～12月計	300	4	103	6	3	416
1月～3月計	281	2	67	4	1	355
合計	1210	178	348	19	13	1768

分析・課題

- 運行回数は、令和2年度より増加となった。
- 新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた時期もあり、定期受診、社会参加を控えていた方が、利用を再開されたことが増加の要因として考えられる。
- 地域包括支援センター等、関係機関を中心に広報活動を実施しており、関係機関からの紹介でつながる利用者がいた。
- 広報活動を続けていくことが利用者増加につながると考えられる。
- NPO法人調布ハンディキャブメンバーの高齢化が進んでおり、人員不足が今後課題となる可能性があるため、サービスの認知度を高めるためのPRと併せて人員募集も積極的に行っていく必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(3)	調布市老人クラブ活動支援事業			市	

結果の概要

- コロナ禍でほとんどの事業が出来ない中、実施方法を変える等の提案をし、少しでも活動を実施することができた。
- 市老連広報誌「不老又新」を会員だけではなく、市役所高齢者支援室窓口、各地域福祉センター、老人憩いの家に配架をし、広く市民に周知できた。
- 調布市老人クラブ連合会のホームページに単位クラブのページを追加した。
- 令和3年4月現在 単位クラブ数 34クラブ 会員数 1,617人

実績等

1 会議関係	総会	4月23日 文書審議による	55人
	理事会	9回	延192人
	会長会議	2回	延68人
	会計監査	4月7日、10月27日	延4人
	指導者研修会	中止	
2 友愛実践活動	友愛リター-会議	3回	延25人
	友愛実践活動研修会	2回	延90人

3	グラウンド ゴルフ大会	第26回大会	10月29日	156人	
		専門委員会、反省会	3回	延41人	
	グラウンド ゴルフ練習	毎週水曜日 調布基地跡地運動場 自由広場			自由参加
		毎週金曜日 多摩川河川敷ソフトボール場			
	ペタンク大会	第43回大会		中止	
		専門委員会、反省会		中止	
	輪投げ大会	第58回大会		中止	
専門委員会、反省会			2回	延16人	
みんなの健康 教室	教室		2回	延90人	
	専門委員会		3回	延25人	
健康吹き矢教室	練習		中止		
4	将棋大会	将棋大会	12月24日	12人	
		専門委員会	1回	3人	
	囲碁大会	囲碁大会		中止	
		専門委員会、反省会		2回	延12人
	俳句大会	俳句大会	郵送による大会を実施		47人
		専門委員会		中止	
	会員作品展	会員作品展		中止	
		専門委員会、反省会		2回	45人
	芸能大会	第54回大会	カラオケコンクールとして実施		48人
		専門委員会		中止	
カラオケふれ あいの集い	第30回カラオケふれ あいの集い		中止		
	専門委員会		中止		
囲碁教室	練習		7回	112人	
不老又新		不老又新夏号、新春号の発行		年2回	
5	女性部全体会		文書による報告 活動目標、活動予定ほか		
	女性部常任委員会		4回	延50人	
	女性部ブロック委員会		1回	35人	
	調布よさこい		中止		
	レクダンスの伝承		中止		
	日帰り研修旅行		中止		
	女性部おたのしみフェスタ		中止		

6 その他	木島平村交流		中止	
	玩具の伝承	調布よさこい	中止	
		福祉まつり	中止	
		むさ森公園フェスタ	中止	
		多摩小総合学習	中止	
		実行委員会	計2回	
	新春のつどい	式典・懇親会	中止	
	敬老会		中止	
市老連一泊旅行		中止		
7 東京都老人クラブ連合会関係	女性部全体会		中止	
	レクダンス・エアロビクス指導者研修会		中止	
	東老連新任単位クラブ会長研修会		中止	
	東老連輪投げ大会		中止	
	関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会		中止	
	東老連女性リーダー連絡会議及び手作り品講習会		中止	
	東老連女性リーダー宿泊研修会		中止	
	東老連ペタンク大会		10月8日	7人
	東老連グラウンド・ゴルフ大会		11月5日	156人
	東京都老人クラブ大会		12月9日	5人
	東老連シニア健康フェスタ		中止	
	市区町村老連会長並びに役員研修会		中止	
東老連新年会		1月7日	2人	
8 東老連多摩地区第4ブロック関係	多摩地区第4ブロック女性部推進リーダー会議		中止	
	多摩地区第4ブロック会議		中止	
	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会代表者会議		中止	
	多摩地区第4ブロック健康教室事業		中止	
	多摩地区第4ブロック女性部会連絡会議		中止	
	多摩地区第4ブロック軽スポーツ交流会輪投げ大会		中止	
	多摩地区第4ブロックシニアフェスタ練習		中止	

分析・課題

○会員減少の原因の一つである会計処理問題緩和への対策として、会計に不安をもつクラブが個別で相談できる「会計相談会」を企画したが、新型コロナウイルスの影響により実施できなかった。令和3

年度の準備段階で明らかになった問題点、会計相談を受ける担当者の人数を整備し、令和4年度は実施したい。

- 会員が減少・高齢化しているクラブが増加しているが、なかなか若い世代の新規会員を増やすことができていない。どちらの世代のニーズにも合った活動を提案し、実施していく必要がある。
- 若い世代の会員を増やすために、これまで主に紙ベースで行っていた広報活動に加え、ホームページを公開している。コロナ禍で事業活動が減っている中、単位クラブの個別ページも含め情報の更新ができています。ページビューは令和2年度比141%となった。
- リーダー不在で休会となっているクラブ、高齢化に伴い活動が少なくなっているクラブは、同じ地区協議会内で協力し活動の安定化を進めている。
- 連合会活動の活性化のため、比較的若い世代の会員で総務部の活動を行い、社協での自治会向けの募金を実施の際に配布するチラシ案を作成した。令和4年度に実施したい。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(4)	調布市障害者（児）団体連合会への支援				

結果の概要

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から総会については書面での決裁を実施し、評議員会、交流会、合同会議は中止とした。
- 市が主催する総合福祉センター整備に関する検討会に対して、会として当事者および家族代表として2人の委員を選出し、整備に関する検討事項について共有した。また、市主催の総合福祉センター整備に関する意見交換会に障団連加入団体の会員が複数人参加した。

実績等

行事	実施日	実施回数	参加者	内容
会計監査	6月14日（月）	年1回	監査2人 事務局3人	令和2年度会計監査

分析・課題

- 令和4年度も同様に新型コロナウイルスの影響を大きく受けると予想される。通常の活動をいつ頃再開するか各会代表と状況を見ながら検討する必要がある。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(5)	福祉団体等事業助成	基	市		

結果の概要

- 障がい者団体や高齢者団体等の会運営や事業に対し助成を行い、団体の活動を支援した。
- 調布市遺族厚生会 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から平和祈念祭が中止となったため、助成した大会助成金105,000円が返還された。
- 調布市原爆被害者の会 新型コロナウイルス感染拡大状況や参列者の多くが高齢者の方であること等を踏まえ、平和祈念式典（長崎・広島）に不参加のため、助成した大会助成金100,000円が返還された。

実績等

○団体助成、大会助成

No.	団体名	助成内容	助成額
1	調布市原爆被害者の会	会運営費・平和大会	20万円
2	調布市遺族厚生会	会運営費・平和祈念祭	28万円
3	共同募金調布地区協力会	会運営費	20万円

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(6)	機材の貸出				

結果の概要

- ボランティアグループ、福祉施設、公的機関等の事業に対して、テント、パネル、スクリーン等の社協機材の貸出を行った。
- 故障等への対応、貸出のルールの特化、物品ごとの色分け等、工夫を行ったことで、予約の重複や物品の紛失等、大きな問題はなく貸出ができた。

実績等

○貸出件数一覧

社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数	社協機材	貸出件数
テント（大）	9件	ポップコーン機	2件	パネルフック	2件
テント（小）	2件	ブルーシート	3件	ビンゴ抽選機	3件
テントウエイト	10件	ポッチャー式	18件	拡声器	0件
ワイヤレスアンプ	89件	CDラジカセ	176件	折りたたみ椅子	5件
プロジェクター	123件	有線マイク	32件	スクリーン	96件
冷水用ジャー	0件	パネル	4件	輪投げセット	8件
延長コード	102件	パネル足	4件	譜面台	1件
移動式赤ちゃんの駅	0件	書画カメラ	41件	Blu-rayプレイヤー	1件
合計	731件				

分析・課題

- 福祉活動の充実を側面から支援するため、貸出ルールの徹底及び貸出物品を使いやすく整備する。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(7)	後援・共催事業				

結果の概要

- 市内各種団体が福祉活動を実施するに当たり、依頼に応じて後援を行った。

実績等

○後援事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	劇団芸優座 春の公演 親子観劇会 『一休さん』	株式会社 劇団芸優座
2	劇団芸優座 夏の公演 『プロポーズ～チャーホフ短編集～』	株式会社 劇団芸優座
3	第16回 調布フィーリングアーツ ダンス&バレエライブ	調布フィーリングアーツ
4	「咲む」調布上映会	調布市聴覚障害者協会
5	第32回（令和3年度）福祉講演会	公益財団法人調布ゆうあい福祉公社
6	調布青年経済人会議 2021『UNITED WE JUMP!』	調布青年経済人会議 2021 実行委員会
7	コロナ困りごと相談会 in 調布	コロナ困りごと相談会 in 調布実行委員会
8	調布さくらウインドオーケストラ ミニコンサート	調布さくらウインドオーケストラ
9	福祉映画上映会	調布市福祉作業所等連絡会
10	「東日本大震災慰霊祭 2022～あの日を忘れない。～」	東日本大震災慰霊祭実行委員会 2022
11	第17回深大寺短編恋愛小説「深大寺恋物語」公募事業	深大寺短編恋愛小説実行委員会
合 計		11件

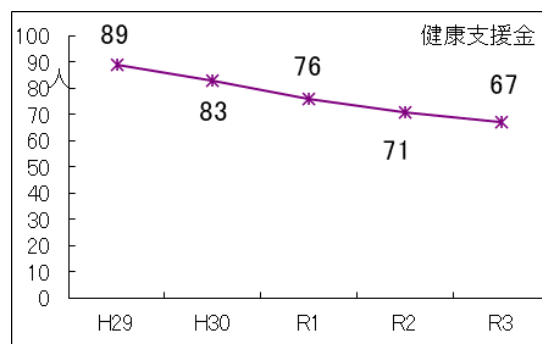
○共催事業一覧

No.	事業名	主催団体
1	高齢者・障害者のための成年後見相談会	公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部
2	「北ノ台ふれあい朝市」	北ノ台まちづくりネットワーク
合 計		2件

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(8)	健康支援金		市総		

結果の概要

○健康支援金給付事業事務取扱要領に基づき、被爆者健康手帳の交付を受けている方に健康支援金を口座振込みにより給付し、福祉の増進を図った。



実績等

○支給人数67人

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(9)	中央競馬馬主社会福祉財団助成事業				

結果の概要

- 平成24年度より中央競馬馬主社会福祉財団の公益財団法人の移行に伴い、NPO法人に関して直接助成が可能となった。引き続き無認可の施設に関しては社協からの申請・管理となる。
- NPO法人が申請を行う場合、当該施設の所在地域の社協の推薦状が必要となり、令和3年度は申請3件。
- 事業総額費の70%を財団が助成を行い、30%は施設の自己負担分となる。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(10)	招待事業				

結果の概要

- 企業、奉仕団体等より、障がい者や高齢者、事業協力者に対する招待をいただき、社協が窓口となって、イベント等に招待している。令和3年度は新型コロナウイルスの影響により、例年招待のあったイベントが実施されない等、件数が少なかった。

実績等

- Bリーグ アルバルク東京公式戦招待

日にち	対戦相手	招待人数	招待施設名
11月7日(日)	京都ハンナリーズ	1人	ドルチェサロン

- 調布市花火大会への招待
新型コロナウイルスの影響で花火大会が中止となり、招待はなかった。
- 味の素スタジアムFC東京公式戦招待
新型コロナウイルスの影響で、実施されなかった。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(11)	調布市いきいきクラブ調理運営協議会事務局			市	○

結果の概要

- 通所介護アイビーの利用者に昼食を提供する調理ボランティア団体「調布市いきいきクラブ調理運営協議会（以下「協議会）」の事務局として支援した。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理活動は4月17回、7月6回、11月～12月、1月12回の実施となった。ブロック長会は4月、10月～1月、3月に実施をした。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、後片付けの時間を短縮するためにプラスチック容器と割りばしで昼食を提供した。また、引き続きアイビーの利用者との会食は行わず、ボランティアはアクリル板を設置している別室での黙食をお願いした。
- 退会する方が多く慢性的に人手は不足していたが、会員間の協力により昼食提供を続けることができ

た。

- 新規登録者は7人。会員数71人・長期欠席者1人（令和4年3月31日現在）。
- 会員に1回500円の謝礼金の支払いを行った。延べ327人。
- 年2回の研修会と見学会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

実績等

	項目	回数	内容
会議 関係	総会（中止）	0回	令和2年度決算・令和3年度予算等 書面にて議決した
	役員会	6/12回	活動内容（献立等）の決定・運営方法について
	ブロック長会	6/12回	材料費の支給・情報交換・懸案事項の検討
	監査会	1回	令和2年度決算監査
研修	研修会（中止）	0/2回	
	見学会（中止）	0回	
活動	調理活動	73回	通所介護「アイビー」利用者の昼食作り 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約8か月 間の活動を中止した。
	大掃除（中止）	0/2回	活動中止期間が長く、日々の清掃のみで対応した。
	細菌検査	11回	ボランティアは月1回細菌検体を提出（活動中止期 間中の1月は未実施）
	避難訓練（中止）	0回	総会後に行う予定だったので未実施
広報	ボランティア 募集	2回	ふくしの窓 1回 ちょうふFM出演 1回

分析・課題

- 第3月曜日の3ブロックと第4火曜日の8ブロックは全員が欠員となっており、他ブロックからのボラン
ティアによる応援にて活動を継続した。また、欠員ブロックに重複して活動をする協力会員が複数人
いる。引き続き、欠員ブロックへの協力を要請していくと同時にボランティア募集の広報活動を強化
していく。
- 第5週目の協力に関しては、ボランティアの過度な負担とならないよう、当面は見合わせていく。
- 令和2年度に実施したアンケート結果をもとに、内容を絞ってアンケートを実施した。今後の協議会
の在り方について等、率直な意見が寄せられており、今後、ボランティアが負担を感じることなく活
動を継続していけるよう検討を重ねていく。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(12)	地域福祉コーディネーター（コミュニティソーシ ャルワーカー）（重点項目）			市	

結果の概要

- 以下の福祉圏域において制度の狭間の課題等、様々な相談を受けるとともに、各種団体・機関と連携

しながら、支え合いの仕組みづくりを目指した。

福祉圏域 (小学校区)	主な担当地域	備考
緑ヶ丘 滝坂	仙川町1～3丁目、緑ヶ丘1・2丁目、 菊野台1丁目の一部、 東つつじヶ丘1～2丁目・3丁目の一部、 西つつじヶ丘1～4丁目の一部、若葉町1丁目の一部	
若葉 調和	東つつじヶ丘3丁目の一部、 西つつじヶ丘3・4丁目の一部、入間町1～3丁目、 若葉町1丁目の一部・2・3丁目、国領町8丁目の一部、 菊野台1丁目の一部・2・3丁目	
上ノ原 柏野	佐須町1丁目の一部・2丁目・3丁目の一部・4・5丁目、 柴崎1・2丁目、菊野台1丁目の一部、 西つつじヶ丘1丁目の一部・2丁目の一部、 調布ヶ丘3丁目の一部、深大寺元町2丁目の一部、 深大寺東町2丁目の一部・3・4丁目、 深大寺南町1～3丁目の一部・5丁目の一部	
北ノ台 深大寺	深大寺北町1～7丁目、佐須町1丁目の一部、 深大寺元町2丁目の一部・3～5丁目、 深大寺東町1丁目・2丁目的一部分・5～8丁目、 深大寺南町1～3丁目的一部分・4丁目・5丁目的一部分	
第二 八雲台 国領	佐須町3丁目的一部分、調布ヶ丘2丁目・3丁目的一部分、 八雲台1・2丁目、国領町1～5丁目、8丁目的一部分、 布田2・3丁目	
染地 杉森 布田	国領町6・7丁目、染地1～3丁目、 布田5・6丁目、多摩川6・7丁目	
第一 富士見台 多摩川	富士見町2丁目的一部分、下石原1～3丁目的一部分、 小島町1～3丁目、多摩川1～5丁目、布田1丁目・4丁目、 調布ヶ丘1丁目・3丁目的一部分・4丁目、深大寺元町1丁目	
第三 石原 飛田給	飛田給1～3丁目、上石原1～3丁目、富士見町1丁目、2丁目 の一部・3～4丁目、野水1・2丁目、西町	

実績等

<共通>

- 日常の困りごとや心配ごと、社会的孤立・生活困窮・サービス未利用といった制度の狭間の課題、複合的な課題等、様々な相談について、必要な支援につなげるとともに、地域住民や地域支え合い推進員及びボランティアコーディネーターを含む様々な専門職・関係機関と連携し、課題解決に向けた働きかけを行った。
- 令和2年度に引き続き、「調布市相談支援包括化推進会議」を調布市福祉総務課とともに運営し、委員及び事務局として参加した。

- 新型コロナウイルスの影響で市内の子ども食堂の通常開催が難しくなったが、代わりにフードパントリー形式の開催が目立つようになった。実施を通して関係機関や民生児童委員とも連携することが多くみられ、高齢者や中高生世代の若者、子育て世代と幅広い年代の方々がボランティア希望し参加された。
- 様々な研修に参加するとともに、室田信一氏（東京都立大学准教授）によるスーパービジョン（指導・助言等）を受けて、職員の資質向上に努めた。
- 令和2年度に引き続き、ひきこもり支援に力を入れた。「調布ひきこもり家族会やまぼうし」は、他機関からの相談等につながった家族や当事者会立ち上げで出会った方々を新たにお誘いしながら開催できた。オンラインではなく「顔を合わせる」ことを大切に、まん延防止等重点措置の期間を除き8回開催した。また、ひきこもりを含む「生きづらさ」に焦点を当て、生きづらさを抱える方達による「当事者会」が誕生した。さらに「生きづらさ当事者の女子会」の立ち上げも進んでいる。
- 外国籍の住民からの個別相談も増えている。内容は様々な問題が重なっていることが多く、様々な地域資源を結集して、多方面・重層的に相談にあたった。また、そのような支援のなかで新たな支援先を得ることもできた。
- 新型コロナウイルスの影響で外出の機会が減少した高齢者向けの講座や体操を企画、さらに情報格差を感じている高齢者に対してスマートフォン講座を各地域で実施した。単発講座だけではなくボランティアを発掘し、居場所サロンとしていく働きかけも行った。
- 市内の企業や商店、店舗や奉仕団体等との連携が目立った。子ども若者向けの取組に地域貢献したいという声が多く、寄付を含めたあらゆる支援に繋ぐことができた。引き続き、地域との橋渡しを継続していく。

○実相談件数

福祉圏域（小学校区）	個別支援	地域支援	合計
緑ヶ丘・滝坂	48	35	83
若葉・調和	82	41	123
上ノ原・柏野	44	63	107
北ノ台・深大寺	43	23	66
第二・八雲台・国領	40	33	73
染地・杉森・布田	66	24	90
第一・富士見台・多摩川	56	36	92
第三・石原・飛田給	50	20	70
全域・複数圏域		73	73
合計	429	348	777

○延べ活動件数（行動区分）

福祉圏域（小学校区）	訪問	来所	電話	メール	オンライン	その他	合計
緑ヶ丘・滝坂	221	72	470	120	16	248	1,147
若葉・調和	395	136	740	358	33	298	1,960
上ノ原・柏野	596	53	487	189	13	437	1,775
北ノ台・深大寺	412	120	507	259	29	553	1,880
第二・八雲台・国領	429	88	468	230	23	500	1,738

染地・杉森・布田	293	147	516	373	50	296	1,675
第一・富士見台・多摩川	314	169	607	85	42	226	1,443
第三・石原・飛田給	348	103	430	113	25	238	1,257
合計	3,008	888	4,225	1,727	231	2,796	12,875

分析・課題

- 新型コロナウイルスの影響により、地域活動は制限をしながらの活動が目立ったが、この状況であるからこそ生まれていく高齢者のスマホ講座や、オンラインで行うひだまりサロン、住民主体のフードパントリー等を通して、新しいボランティアや地域のつながりが生まれている。課題からチャンスを生む発想が今後も必要と思われる。
- 相談の中には制度の狭間や複合的な地域生活課題が多く含まれ、必ずしも課題解決につながらない相談もある。「精神疾患」や「発達障害」、生きづらさにつながるパーソナリティにより、近隣住民や支援者との関わりが希薄化し、社会的孤立に繋がるケースも目立っている。そのような相談に対応するためには、調布市相談支援包括化推進会議及び専門職ネットワーク会議と連携を図り支援体制をチームで行っていくことが必要である。専門職ネットワーク会議は現在すべての圏域で立ち上がっている。令和4年度以降の重層的支援体制整備事業を見据えて、ネットワークの充実に努める必要がある。
- 企業から地域貢献を一緒に考えて欲しいという相談も増えてきている。今後は福祉と企業との連携をより考えていくとともに、我々も企業理解を深めていく必要がある。
- 地域福祉フォーラム等、動画での配信を活用するようになってきている。メディアリテラシーや情報モラルを勉強していくとともに情報格差を無くしていく必要性を感じている。

番号	事業名	財源			
		自主	補助	委託	事業
(13)	ちょうふ地域福祉フォーラム				

結果の概要

- ちょっとした手助けや住民同士の支え合いがあれば、高齢者をはじめ、地域住民の生活が安心して暮らしやすくなるというテーマで、「ちょっとした困りごと」「あったらいいな」を地域で考える機会として、滝坂・緑ヶ丘小学校エリアの住民を対象に行った。すでに市内で生活支援サービスにあたる活動を行う2団体の活動紹介を通じて、地域内での支え合い活動への関心を高めた。
- 感染症予防対策として会場での人数は抑えて行ったが、当日の内容を今後オンラインによる配信で広く周知を行う。

実績等

タイトル	あったらいいなの地域づくり
日時	令和4年3月12日 13:30~15:30 令和4年5月10日~6月10日 動画配信
会場	仙川ふれあいの家
内容	(1) 基調講演「地域を支える 縁の下の力持ち」 講師 川村 岳人氏 (立教大学准教授) (2) 活動報告

	・タスクネット東京 ・たまの手
参加人数	8人

分析・課題

- 地域の課題を深く学べるよう市内の実践紹介を行ったことで、より身近な内容として自分達の地域とも共通した課題があると学ぶ機会になったと思われる。また、活動している団体にとっても発表の場があることで張り合いになったとの感想が聞かれ、双方にとって良い学びとなった。
- 令和2年度は動画配信のみの実施だったが、令和3年度は実際に開催できたことで参加者同士の交流が生まれ、その後の地域支援にも繋げることができた。また今後動画配信を行うことで参加できなかった方へも情報発信の機会とし、市内全体へ支え合いの大切さを働きかけていきたい。